



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5210 URL http://www.yamamura.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貫 正義 TEL 06-4300-6000
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	34,352	△5.7	559	△0.0	666	△29.8	430	△8.7
2019年3月期第2四半期	36,424	1.7	559	△56.1	950	△45.1	471	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △230百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △962百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	41.00	—
2019年3月期第2四半期	44.90	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	105,587	54,883	51.7
2019年3月期	105,006	55,248	52.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 54,551百万円 2019年3月期 55,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	2.50	—	25.00	—
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無
 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2019年3月期の1株当たり年間配当金は50円となります。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	△4.6	△100	—	200	△77.2	100	△39.8	9.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	11,145,249株	2019年3月期	11,145,249株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	652,459株	2019年3月期	652,127株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	10,493,079株	2019年3月期2Q	10,494,426株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が堅調に推移し、雇用・所得環境の改善が続く中で個人消費も持ち直しており、緩やかな回復が見られました。しかしながら、減速傾向が見られる世界経済において、通商問題や海外の政策に関する不確実性等のリスクがあり、また、国内においては消費税率引き上げ後の個人消費の動向等、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは「世界のYAMAMURAへ一心と技術を伝えたい」というビジョンを掲げた中期経営計画において、「グループ総合力の深化」と「研究開発の推進」という全体戦略、「パッケージング事業の収益力強化」と「ニューガラス事業の拡大」という事業戦略の下、グループ一体となってさらなる業績向上に取り組んでおります。

事業セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、海外子会社において価格改定や品種構成による販売価格の上昇がありました。しかし、長梅雨や大型台風の影響に加えて他素材容器への転換が進んだこと等により国内ガラスびん業界全体の出荷量は前年同期比94.1%と減少しました。このような状況の下、当社の出荷量も減少し、セグメント売上高は23,753百万円（前年同期比2.9%減）と減収となりました。セグメント利益は、当社において出荷量減少に伴う生産量減少がありました。海外子会社における販売価格の上昇という増益要因等により、228百万円（前年同期は△201百万円の損失）と増益となりました。

② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、当社において天候の影響等により飲料用キャップの出荷が減少したため、セグメント売上高は3,555百万円（前年同期比6.9%減）と減収となりました。セグメント利益は、当社において生産量の増加等の増益要因はありましたが、減収による影響や減価償却費の増加等により、241百万円（前年同期比37.4%減）と減益となりました。

③ 物流関連事業

物流関連事業では、取扱い物量の減少等により、セグメント売上高は5,394百万円（前年同期比5.5%減）と減収となりました。セグメント利益は、生産性の改善や外注費等の費用削減等により、30百万円（前年同期は△61百万円の損失）と増益となりました。

④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、当社の電子部品用ガラスや国内子会社の光通信用キャップ部品の出荷が減少したため、セグメント売上高は1,647百万円（前年同期比32.1%減）と減収となりました。セグメント利益は、製造経費等の削減に努めましたが、当社および国内子会社ともに減収の影響があり、また当期から連結の範囲に含めた海外子会社の立ち上がりによる損失を取り込んだため、△184百万円（前年同期は235百万円）と損失となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は34,352百万円（前年同期比5.7%減）と減収となりました。連結営業利益は559百万円（前年同期比0.0%減）と前期並となり、持分法による投資利益は450百万円（前年同期比27.9%減）となったため、連結経常利益は666百万円（前年同期比29.8%減）と減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、430百万円（前年同期比8.7%減）と減益となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきまして、2019年8月8日に公表しました業績予想との間に差異が生じました。また、2020年3月期における通期の業績予想につきましては、当第2四半期までの状況およびその後の経営環境等を勘案して、2019年5月13日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2019年11月8日）公表の「2020年3月期第2四半期連結累計期間における業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,114	12,732
受取手形及び売掛金	19,568	19,460
商品及び製品	7,174	7,822
仕掛品	224	326
原材料及び貯蔵品	2,838	2,935
その他	740	997
貸倒引当金	△51	△48
流動資産合計	43,609	44,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,022	7,722
機械装置及び運搬具(純額)	13,894	12,899
工具、器具及び備品(純額)	1,060	1,014
土地	10,332	10,332
建設仮勘定	291	497
有形固定資産合計	33,600	32,467
無形固定資産		
その他	1,512	1,491
無形固定資産合計	1,512	1,491
投資その他の資産		
投資有価証券	3,410	2,982
関係会社株式	21,457	22,838
退職給付に係る資産	860	854
その他	581	751
貸倒引当金	△25	△26
投資その他の資産合計	26,283	27,401
固定資産合計	61,396	61,360
資産合計	105,006	105,587

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,210	7,702
短期借入金	6,939	9,475
1年内償還予定の社債	100	50
未払法人税等	360	309
賞与引当金	499	619
役員賞与引当金	17	9
その他	5,727	3,525
流動負債合計	21,855	21,691
固定負債		
社債	1,500	1,500
長期借入金	20,099	21,642
リース債務	1,425	1,186
環境対策引当金	21	17
退職給付に係る負債	3,133	3,137
繰延税金負債	1,034	878
その他	687	650
固定負債合計	27,902	29,012
負債合計	49,758	50,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,697	16,697
利益剰余金	27,775	27,744
自己株式	△1,236	△1,237
株主資本合計	57,311	57,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,258	966
繰延ヘッジ損益	△133	△203
為替換算調整勘定	△2,715	△3,005
退職給付に係る調整累計額	△538	△485
その他の包括利益累計額合計	△2,128	△2,727
非支配株主持分	65	332
純資産合計	55,248	54,883
負債純資産合計	105,006	105,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	36,424	34,352
売上原価	29,850	28,163
売上総利益	6,573	6,189
販売費及び一般管理費	6,013	5,629
営業利益	559	559
営業外収益		
受取利息	2	7
受取配当金	61	52
持分法による投資利益	624	450
その他	213	191
営業外収益合計	903	701
営業外費用		
支払利息	206	203
為替差損	105	159
租税公課	56	57
その他	144	174
営業外費用合計	512	594
経常利益	950	666
特別利益		
固定資産売却益	5	2
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	11	2
特別損失		
固定資産売却損	54	—
固定資産廃棄損	19	2
支払補償金	—	46
特別損失合計	73	49
税金等調整前四半期純利益	888	620
法人税、住民税及び事業税	455	231
法人税等調整額	△42	△4
法人税等合計	413	227
四半期純利益	474	392
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△37
親会社株主に帰属する四半期純利益	471	430

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	474	392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	△292
繰延ヘッジ損益	67	△70
為替換算調整勘定	△118	△118
退職給付に係る調整額	3	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,416	△144
その他の包括利益合計	△1,436	△622
四半期包括利益	△962	△230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△965	△168
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	888	620
減価償却費	2,144	2,384
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,630	△19
仕入債務の増減額 (△は減少)	△382	△414
たな卸資産の増減額 (△は増加)	153	△902
その他	△4	△577
小計	1,168	1,090
利息及び配当金の受取額	59	48
利息の支払額	△213	△191
法人税等の支払額	△358	△251
法人税等の還付額	71	93
営業活動によるキャッシュ・フロー	728	789
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	107	100
有形固定資産の取得による支出	△3,061	△3,062
関係会社株式の取得による支出	△181	△2,052
その他	10	△459
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,125	△5,473
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1	2,259
長期借入れによる収入	5,200	3,800
長期借入金の返済による支出	△1,969	△1,901
セール・アンド・リースバックによる収入	510	—
配当金の支払額	△262	△262
その他	△465	△478
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,010	3,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36	△63
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	576	△1,330
現金及び現金同等物の期首残高	11,193	10,872
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,769	10,598

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,466	3,820	5,709	2,427	36,424	—	36,424
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	258	5,247	3	5,510	△5,510	—
計	24,467	4,078	10,957	2,431	41,934	△5,510	36,424
セグメント利益 又は損失(△)	△201	384	△61	235	357	202	559

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額202百万円には、セグメント間取引消去等57百万円、その他の調整144百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,753	3,555	5,394	1,647	34,352	—	34,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	264	5,115	3	5,383	△5,383	—
計	23,754	3,820	10,509	1,651	39,735	△5,383	34,352
セグメント利益 又は損失(△)	228	241	30	△184	315	243	559

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額243百万円には、セグメント間取引消去等57百万円、その他の調整186百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。